



学園創立110周年のあるべき姿を目指して

学園中期計画「筑女プラン2017」進行中！

図表1 「進捗判断の基準」

達成度 (進捗率)	評価指標	昨年度 (平成24年度)の 進捗度内訳
100%	予定していた計画の全てが実施され、成果指標に基づいた検証結果を踏まえて、次年度の計画に着手できる状態。	32施策
80%	予定していた計画がほぼ完了し、成果指標に基づいた検証を実施。	30施策
60%	予定していた計画の半分以上が完了し、成果指標に基づいた検証を実施。	18施策
40%	議論・打ち合わせ等の行動に着手し、年度内に予定していた計画の40%程度が完了。	18施策
20%	議論・打ち合わせ等の行動には着手したが、年度内に予定していた計画の20%程度しか完了できていない。	19施策
0%	議論・打ち合わせ等の行動が全く行われていない。	6施策

平均進捗率 62.9%

合計 123施策★

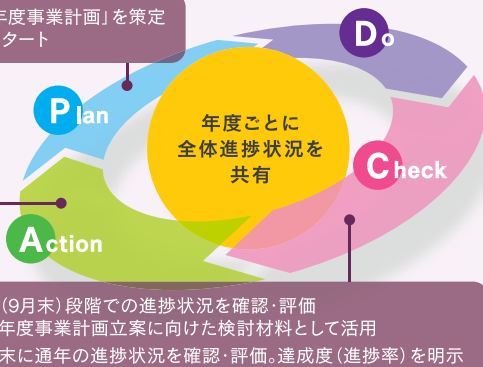
★1施策については、平成27年度からスタート予定

図表2 「ローリングの実施と検証体制図」

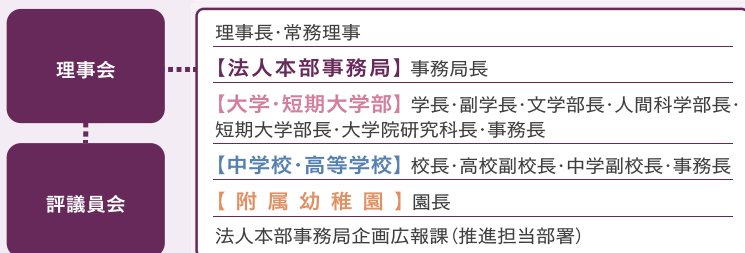
◆筑紫女学園の「ローリングプラン」

- 筑女プランに基づいた「単年度事業計画」を策定
- 理事会承認を経て各年度スタート

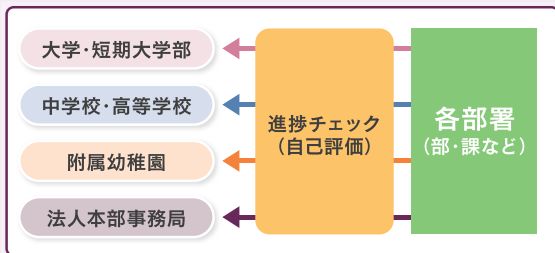
- 次年度事業計画案の検討と併せて、中期計画に追加・変更・修正



◆全体進捗チェック体制



学園内のイントラを通して、全教職員で進捗評価の結果を共有


**昨年度は全体で
62.9%の進捗状況**

中期計画「筑女プラン2017」は、学園全体でその柱となる12の項目を共有した上で、各学校ごとに具体的な行動計画を「アクションプラン」(学園合計124施策)として掲げ、昨年度(平成24年度)スタートしました。

2年目となった今年度は、まず昨年度の各実績を6段階(100%から20%刻み)で評価することから始め、その結果、全124施策平均62.9%という進捗状況となっています。

このうち、半数にあたる62施策が「80%」を超える進捗率となり順調に滑り出した一方で、昨年度は中期計画の基礎となる議論が多かったことも

昨年度の進捗状況を踏まえ、「ローリング」を実施

これらの反省を踏まえ、昨

あり、具体的な成果に結びつけることのできなかった施策(40%以下)が少なくともなかったという現実も明確になっています(図表1「進捗判断の基準」参照)。

年度の進捗率が40%以下の施策については「ローリング」(プラン自体の一部修正)を実施、より現実に即した内容へ軌道修正した上で、今年度の計画を進めています。この「ローリング」は、今後も各年度中に適宜実施しながら、より詳細な単年度の事業計画と連動させ、最終的に中期計画の確実な実施へ結び付けていくことにして

います(図表2「ローリングの実施と検証体制図」参照)。

来年度は、中期計画5カ年の中間総括時期にあたる3年目を迎えます。進捗率の低い施策を中心に、今年度の残り期間も含め、さらなる緊張感を持って進めていきたいと思っています。

※「宗教教育」「女子教育」「教育」「園児・生徒・学生支援」「国際交流」「研究・研修」「広報・入学定員確保」「社会貢献」「施設・設備」「管理運営」「財務」「新規事業」

●アクションプランの概要につきましては、昨年度学園報(No.79)および学園ホームページ「筑紫女学園報」バックナンバー <http://www.chikushi.ac.jp/gakuenhou/79/> をご参照ください。